

議会あれこれ

「ようこそ志免町議会へ」
山口県周防大島町議会より
研修にみえられました。

研修事項は
・議員削減に係る対応について
・削減後の住民の反応
・削減に伴う議会のメリット、デメリット
などで、議会運営委員会全員で対応しました。

周防大島町は平成16年4町で合併。56人から20人に議員定数を削減しているが、社会情勢など勘案し、定数削減を議長より諮問され調査、研究を行っているとのことでした。

定数削減の推移を説明しましたが、我が町とは町の面積、人口、予算規模など比較できない部分もあり、何を基準とするか苦慮する案件でした。

周防大島町では高投票率(80%)ですが、地域推薦など若人や女性が出にくい事情も察せられました。

志免町議員定数の推移

自	至	期間	定数	経緯
	昭和62年4月		22名	
昭和62年5月	平成11年4月	12年間	20名	昭和62年3月議会で陳情書が出され、62年4月4日臨時会にて議員提案により可決。
平成11年5月	平成19年4月	8年間	18名	平成10年9月議会で陳情書が出され10年12月議会にて議員提案により可決。
平成19年5月	平成23年4月	4年間	16名	平成18年12月議会にて議員提案により可決。
平成23年5月			14名	平成22年12月議会で請願が出され議員定数削減の請願審査特別委員会で審査し議員提案により可決。



新しく事務局体制が変わりました。
長 事務局長 吉川次長



二宮美津代 大西勇 大熊則雄 安河内信宏
川崎博啓(副委員長) 大林弘明(発行責任者) 堤久美子(委員長)

住民の願い

請願・要望・陳情・意見書

意見書	原子力発電所及び原子力関係施設の安全保障を求める	意見書	公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める
提出者	末藤 省三	提出者	大西 勇
要望内容	今回の原発事故を踏まえ、原子力発電所及び原子力関係施設の安全の確保並びに住民生活の安全・安心の確保のため、法的措置を強く要望する。	要望内容	大規模地震等の災害が発生した際、公立学校施設において地域住民の「安全で安心な避難生活」を提供するために、耐震化等による安全性能の向上と防災機能の強化が不可欠。 ・先進的取り組み事例の情報提供 ・財政支援制度の地方公共団体が利用しやすい窓口一元化など速やかに実施すること
採決結果	全員賛成 国へ意見書提出	採決結果	全員賛成 国へ意見書提出



美しい海と雄大な自然に囲まれた
玄海原子力発電所によるこそ

▲志免町まで60km 他人事ではない



末藤 省三 議員

原子力発電 防災計画の見直しせよ

答弁：町は自分たちで守る

末藤 福島原発事故は、日本と世界の人々に大きな衝撃を与えた。放射能汚染による影響は長期にわたって続き、放射性物質の半減期は、セシウム137は30年、プルトニウムは88年かか

る。防災計画の見直しをただちにせよ。
町長 自分たちの町は自分たちで守るといふ気持ちをしつかり持つて、何もかもお任せするというわけにはいかないと。思う。

末藤 現在のテレビが7月24日をもって、国策で廃止になる。家電メー

地デジテレビを延期せよ。
答弁：電波法により廃止

総務課長補佐 すべてのアナログ放送が廃止という事で承知している。

町の活性化 観光ルートの活性化

答弁：ぜひご提案を！



川崎 博啓 議員

川崎 交通アクセスに優れた町と、堅坑や旧志免興業所跡地を結びつけた観光化を図っては。
町長 地域遺産、地域資源をしつかり発掘して町の活性化に結び付く

川崎 弱者救済と子育て環境には地場産業の充実を図り、継続的な財基

地場産業の充実を
答弁：活性化は町の課題

ような提案をぜひいただきたい。
川崎 シーメイトの来場者数は年間30万人。100円でも使っていたらと福祉などに廻わすことができる。

町長 農業とか商工業の活性化が重要で、もっと行政が支援していかねばならない。町の産業の活性化については、致命的課題だと思



▲堅坑櫓と物産店